

# 「ゆめ水族園」の取り組み

ゆめ水族園実行委員会

## 【はじめに】

このプロジェクトは、セイコーエプソン株式会社が提供する社会貢献活動です。接触型投影方法を核に、プロジェクションを使った映像表現により、普段から慣れ親しんでいる体育館や教室などの部屋の中で、まるで目の前に魚やクラゲが泳いでいるような不思議な水の中の世界を体感することができます。2020年3月頃から本校との打ち合わせが始まりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期され、3年越しにやっと開催されることとなりました。

## 【実施に向けて】

5月頃から実施に向けて話し合いが始まりました。メイン会場として体育館の第一フロア、暗闇が苦手な児童生徒に対してはプレイルーム、また今まで活用されていなかったシアタールーム（旧：天象室）の3つの会場での開催が決まりました。シアタールームについては、教室整備を始め、天井がプラネタリウムのようにになっているため、部屋の構造を最大限に活かしたゆったりとリラクゼーションできる空間作りの話し合いが行われました。また、児童生徒の五感を刺激し、効果的な動画作成のコツ等をレクチャーしていただく教員向けの事前研修も同時に開催することが決まりました。

## 【当日の内容】

体育館第一フロアのメイン会場（写真1、2）では、空間全体を使った大迫力の波の映像や、布を螺旋状に配置してまるで空間をすり抜けられるような映像、床に映し出された金魚を真っ白なうちわに捕まえて金魚すくいができる体験型の映像など様々なコンテンツが用意されました。

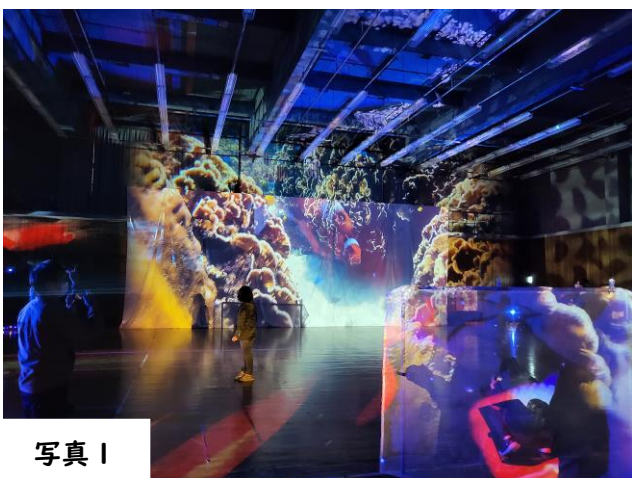


写真1



写真2

プレイルーム（写真3）では、暗闇が苦手な児童生徒に対しても入場のハードルが高くないように、ある程度の明るさを保ちつつ、ハンモック等も用意し、リラックスできる状況で徐々に空間に慣れるように工夫がなされました。

シアタールーム（写真4）では、半球体の天井全体に映像が映し出されました。シアタールームの特徴として空間が完全に真っ暗になるので色彩もはっきり映り、ダイナミックな映像に感じられました。

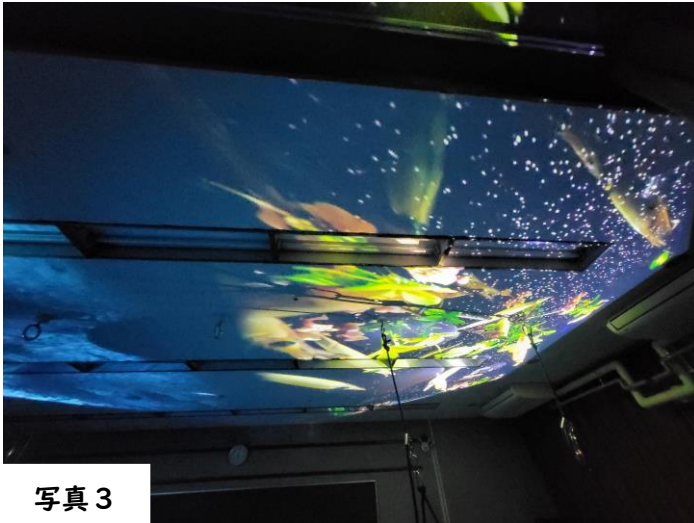


写真3

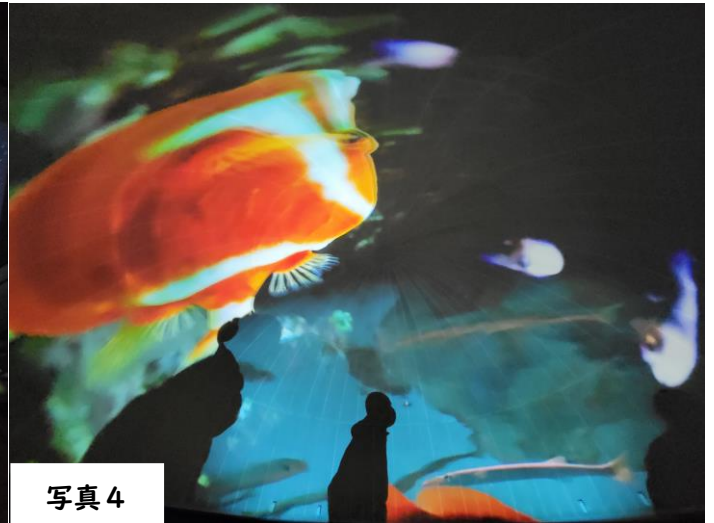


写真4

### 【感染症対策について】

新型コロナウイルス感染症対策として以下の取り組みを行いました。

- ・ゆめ水族園事務局、招待の方には事前の検温、マスクの着用、手指消毒を依頼。
- ・参加児童生徒および教員は入場前に手指の消毒を行う。
- ・鑑賞は学部、学年ごとに行い、入れ替え時に換気を行う。
- ・会場内では間隔を保って鑑賞するように指導する。

### 【成果と課題】

学部、学年でローテーションを組み、会場を3つに設定することで密を避け大きな問題もなく実施することができました。事前学習をしたり入口に児童生徒が描いた魚のモビールを飾ったりして、気分を盛り上げながら当日を迎えることができてきました。体験した児童生徒たちの表情もさまざまで、飛び跳ねて走り回り身体全体で楽しむ児童生徒もいれば、大きな画面の前で座り友だち同士でリラックスする児童生徒もいて、いろいろな楽しみ方がありました。普段では見られない児童生徒の新たな一面や良い反応を見ることができました。

今回シアタールームが解放されたことにより、映像作品を使った授業の幅を広げることや、教室の効果的な活用方法を考えていく必要があります。また、映像コンテンツについても、教員間で研鑽していく必要があると感じました。今回のプロジェクトを通して、映像作品を用いることにより、児童生徒の表現の表出につながったり、コミュニケーションのきっかけになったりと可能性と効果を実感することができました。

### 【今後取り組むべきこと】

- ・シアタールーム設備の整備
- ・効果的な映像コンテンツ作り